

**第80回国民スポーツ大会ソフトテニス競技北海道ブロック予選会  
兼  
北海道スポーツ大会（成年の部：ダブルス・シングルス）  
開 催 要 項**

1	日 時	2026年5月30日（土）・5月31日（日） 受付終了8時30分 受付終了後開会式
2	会 場	滝川市テニスコート（滝川市二の坂町東3丁目 滝の川公園内）砂入り人工芝12面 Tel (0125)23-4617
3	主 催	公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 北海道スポーツ協会
4	主 管	北海道ソフトテニス連盟（強化委員会） 中空知ソフトテニス連盟
5	後 援	スポーツ庁、北海道
6	種 目	成年男子・成年女子 シングルス 5月30日(土) ダブルス 5月31日(日)
7	大会使用球	アカエム
8	競 技 方 法	(1) 別添『2026年度国民スポーツ大会道予選会実施要領』及び『国民スポーツ大会北海道代表選考規程』に基づき実施する。 (2) 7ゲームマッチ (3) ルール等は、公益財団法人日本ソフトテニス連盟（以下、日連という）ソフトテニスルールブックによる。
9	参 加 資 格	(1) 平成20年4月1日以前に生まれた者 (2) 原則として、日本国籍を有する者 (3) 居住地を示す現住所が北海道である者、又は勤務地が北海道である者、又は居住地、勤務地が道外であるが、ふるさと（卒業中学校又は卒業高校の所在地）が北海道である者＝「ふるさと選手制度」⇒要登録 （1度登録した「ふるさと」は変更不可） ※「ふるさと選手制度」を活用しての参加申込の場合は、各自の「ふるさと登録届」の添付がなければ受付できませんのでご注意ください。（詳細は、北海道ソフトテニス連盟事務局にお問い合わせください。）この制度を利用する場合は必ず登録状況を申込書に記入（○印）願います。
10	申 込 期 限	<b>2026年4月23日（木）</b>
11	参 加 料	<b>①シングルス 1名 2,500円（ダブルス選考会に出場しない者 5,500円）</b> ※ダブルスに参加しないもののスポーツ協会負担金内訳 ・スポーツ協会参加者負担金 2,000円＋傷害補償制度負担金 1,000円 <b>②ダブルス 1ペア 10,000円</b> (道連大会参加料 4,000円＋スポーツ協会負担金 6,000円) ※スポーツ協会負担金内訳 ・スポーツ協会参加者負担金 2,000円＋協傷補償制度負担金 1,000円 ×2名=6,000円
12	申 込 方 法	・日本ソフトテニス連盟システムを使用して申し込むこと。 ・道外選手とペアを組む場合は、道内選手がシステムを用いて申し込むこと。 ・ふるさと申請の場合は、別紙に記載し、以下に期日までに <b>郵送またはメールを送付</b> し、参加料を振り込んでください。現金書留も可です。 <b>【郵便振替口座番号】 02760-4-7927</b>

		<p>【加入者名】 北海道ソフトテニス連盟</p> <p>北海道ソフトテニス連盟事務局 〒062-0905 札幌市豊平区豊平 5 条 11 丁目 1-1 北海道立総合体育センター内 電話 011-867-0162 info@hokkaidosofttennis.com</p>
13	参加選手 及び 来場者 留意事項	<p>(1) 所定の時刻までに受付を完了し、開会式時には必ず出席すること。</p> <p>(2) 日連指定のゼッケンを着用し、四隅を止めること。</p> <p>(3) ラケット（公認マーク添付）、シューズ、ユニフォームは、日連が公認したメーカーの製品を使用（着用）し、当該年度の日連の「ユニフォーム等の着用基準」を遵守すること。また、本大会は同基準におけるウェアに関する特例を適用する。</p> <p>(4) 日連会員登録証（登録会員）、公認審判員ワッペン及びイエローカードを携帯し、審判を担当するときは、原則ワッペンを左胸に着用すること。</p> <p>(5) 優勝者は必ず〔持ち回り優勝杯〕を持ち帰り、次年度の大会時に整備のうえ、責任を持って返還すること。</p> <p>(6) 本大会に係わる写真・映像等の広報についての活用と一切の権利については、北海道ソフトテニス連盟に帰属し、承諾するものとする。なお、これらの活用について不都合がある場合は、北海道ソフトテニス連盟に連絡すること。</p> <p>TEL 011-867-0162</p>

この事業は、競輪の補助を受けて実施しています。

競輪の補助事業



令和8年度 国民スポーツ大会（青森県開催）少年男女北海道予選会実施要領

北海道ソフトテニス連盟強化委員会

1 開催日時

種別・会場	試合	受付・開始時間
ダブルス (函館市千代台公園庭球場)	1次予選	8月14日(金) 午前8時30分受付終了、9時試合開始
	2次予選	8月15日(土) 午前8時30分受付終了、9時試合開始
	最終予選	8月16日(日) 午前8時30分受付終了、9時試合開始
シングルス (サン・スポーツランド美唄テニスコート)	1次予選	6月13日(土) 午前8時30分受付終了、9時試合開始
	最終予選	6月14日(日) 午前8時30分受付終了、9時試合開始 ※1次予選は競技者育成プログラム step2の結果も採用する

2 選考方法

## (1) ダブルス

「指定シードペア（代表候補選手）」は、地区予選を免除。（各支部割当て枠外とする）該当するペアの選手変更は一切認めない。ただし、上記権利取得後に地区予選に出場した場合は（ペア変更を含む）は、権利を消滅する。中学3年生は、強化委員会推薦選手を除き、道予選会の1次予選（初日）から20ペアに限り出場を認める。

- 1次予選（初日）
  - ・トーナメント戦又はリーグ戦により4ペアを選出する。
- 2次予選（2日目）
  - ・上記4ペアと指定シードペア（代表候補選手）8ペアを、A・Bブロック各6ペアに分け、総当たりリーグ戦（1回）により、A・Bブロック各上位2ペアを最終リーグに進出させる。
- 最終予選（3日目）
  - ・上記4ペアにより、総当たり最終リーグ戦（1回）を行い、トータルポイントで上位のペアから順に代表ペアとして内定する。

## (2) シングルス

シングルスは、競技者育成プログラムと連動し、参加基準を設けて以下の通り実施する。

なお、選手の負担軽減を考え、「競技者育成プログラム step2 選考会 兼 1次予選」と同一対戦が「最終予選」である場合には、試合を行わず前者の結果を採用する。

- 競技者育成プログラム step2 選考会 兼 1次予選（前日）
  - ・「U17（中学3年生含む）」「高校3年生の部」の各カテゴリーにおいて、規定大会におけるポイント上位者及びハイスクールジャパンカップ南北予選（シングルス）優勝者、北海道新人戦（シングルス）ベスト4入賞者を対象として「カテゴリー別トーナメント戦」を実施し、U17から上位2名、高校3年生の部から上位4名を選出する。
- 最終予選
  - ・選出された6名による総当たりリーグ戦を行い順位決定する。なお、ダブルスの選考を優先とするため、この時点ではシングルスの内定候補者として位置づけ、ダブルスの選手選考が確定した後にシングルス代表選手を確定させる。
- 全国大会における代表内定との兼ね合い
  - ・全国大会結果における「代表内定選手」の権利を有した場合、予選会の結果よりも優先する。ただし、ダブルス代表との兼ね合いもあるので、原則予選会は実施する。

### 【注意事項】

- 1 ダブルス及びシングルスで内定となった選手が辞退をする場合は、それぞれの予選会で次点となったペア（ダブルスの場合）又は選手（シングルスの場合）を繰り上げて内定とする。
- 2 代表となる選手は、監督の指示により、ダブルス、シングルのいずれかにも出場することに承諾しなければならない。（代表選手は、事前に承諾書の提出が必要となる）
- 3 ベンチ入り指導者について、①シングルスでは認めない ②ダブルスでは1次予選は認めるが、それ以降は認めない。
- 4 参加数及び当日の天候等、特別な事情が生じた場合、上記の試合方法を変更することがある。

## 令和8年度 国民スポーツ大会（青森県開催）成年男女北海道予選会実施要領

北海道ソフトテニス連盟強化委員会

### 1. 開催日時

種別・会場	試合	受付・開始時間
シングルス （滝川市テニスコート）	1次予選 最終予選	5月30日（土）午前8時30分受付終了、9時試合開始
ダブルス （滝川市テニスコート）	1次予選 最終予選	5月31日（日）午前8時30分受付終了、9時試合開始

### 2. 選考方法

- (1) シングルス（初日）・ダブルス（2日目）共通

- 1次予選
    - ・ トーナメント戦又はリーグ戦により2～4ペアを選出する（選出数は指定シード選手の参加有無等を考慮して決定する）。
  - 最終予選
    - ・ 1次予選通過ペアに「指定シードペア」を加えて、総当り最終リーグ戦（1回）を行い、トータルポイントで上位のペアから順に代表ペアとして内定する。
- ※ 選手の疲労過多によるけが防止を念頭に、強化委員会において競技方法を決定する。

### 【注意事項】

- 1 シングルスで内定している選手がダブルスの予選会に出場することは可能である。シングルスで内定し、ダブルスを辞退する場合は、ダブルスのパートナーも出場資格が取り消されることになる。
- 2 ダブルスの「内定ペア」は予選会の申込みは不要であるが、ダブルス及びシングルの「指定シードペア又は選手」は、参加申込が必要である。なお、「内定ペア」及び「指定シードペア又は選手」は、1次予選から出場することも可能であるが、その場合は「内定ペア」及び「指定シードペア又は選手」の権利は消滅する。
- 3 ダブルス及びシングルスで内定となった選手が辞退をする場合は、それぞれの予選会で次点となったペア（ダブルスの場合）又は選手（シングルの場合）を繰り上げて内定とする。
- 4 代表選手は、監督の指示により、ダブルス、シングルのいずれかにも出場することに承諾しなければならない。
- 5 参加数及び当日の天候等、特別な事情が生じた場合、上記の試合方法を変更することがある。

## 国民スポーツ大会北海道代表選考規程

- 1 監督・コーチの選考について、少年男女は代表選手所属の指導者を中心に、成年男女は代表選手強化に携わる指導者を中心に強化委員会が推薦し、国スポ代表選考委員会の承認を経て、理事会で審議・決定する。
- 2 代表選手の選考は、以下に示した基準（注①）に該当したペア（同一ペアに限る）を「国スポ代表内定ペア（1ペア）」とし、予選会を免除する。  
 なお、対象が2ペア（ダブルス）以上となった場合は、国スポ代表選考委員会で協議した後、道連理事会で最終審議・決定を行う。※少年のシングルスについては、別に定める。
- 3 上記2以外の代表選手選考会は、「国スポ道予選会実施要領」に基づき、大会要項に定めるペア数（シングルスは選手）を選考する。  
 なお、最終リーグの順位は「ソフトテニスルールブック大会運営規則第3章競技大会第10条」により決定する。
- 4 代表選手5名の他に補欠選手を各種目1名に限り置くことができるものとする。補欠選手の選考基準は、以下に示す注③の通りとし、強化委員会の承認を得て道連理事会で審議・決定する。
- 5 国スポ代表選考委員会は、上記により選出された選手のほか、強化委員会から推薦された監督・コーチ・補欠選手の選考について審議する。また、選手（補欠含む）及び監督・コーチに欠員が生じた場合には、速やかに強化委員会と協議し、補充の選考をしなければならない。
- 6 上記による選考結果は、国スポ道予選後の道連理事会で正式に発表する。
- 7 監督・コーチ・選手（補欠含む）は種目を問わずに一致団結し、常に北海道代表としての自覚と品位を保ち、競技力の向上に努めなければならない。  
 なお、これらに反する行為があった者、または、そのような行為を看過した者は、国スポ代表選考委員会の審議により、北海道代表の資格を失うことがある。
- 8 国スポ代表選考委員会は、必要に応じて理事長が招集する。なお、委員は次のとおりとするが、審議の際には、会長（代理又は委任可）、副会長（2名以上）、理事長、副理事長（強化委員長を含む2名以上）の出席を要す。  
 ※国スポ代表選考委員の該当者：会長、副会長、理事長、副理事長

注①：少年男女における「国スポ代表内定ペア・選手」

ダブルス（同一ペアに限る）	シングルス
---------------	-------

<ul style="list-style-type: none"> <li>○当年度全日本高校選手権 上位 8 ペア</li> <li>○当年度ハイスクールジャパンカップ上位 2 ペア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○当年度ハイスクールジャパンカップ (シングルス) 上位 4 名</li> <li>○全日本シングルス選手権 上位 8 名</li> </ul> <p>ただし、ダブルスを優先として代表選手を決定するため、上記に該当する選手は、内定候補として、シングルス予選会を免除し、シングル予選会の 1 位以上の順位とする。</p>
--	--

**注①：成年男女における「国スポ代表内定ペア・選手」**

ダブルス (同一ペアに限る)	シングルス
<ul style="list-style-type: none"> <li>○前年度東・西日本選手権 (一般) 上位 8 ペア</li> <li>○前年度全日本学生選手権 上位 4 ペア</li> <li>○前年度全日本社会人選手権 (一般) 上位 8 ペア</li> <li>○前年度全日本選手権 上位 16 ペア</li> </ul>	なし

**注②：少年男女における「指定シードペア・選手」**

ダブルス (2次予選)	シングルス
<ul style="list-style-type: none"> <li>○代表候補選手 男女各 16 名</li> </ul> <p>※高校指定大会及び高校 1 年生に限り中学指定大会のポイントを加えて、上位 6～8 ペア (必要に応じて強化委員長推薦を加える) を強化委員会が最終的に承認し、指定シードペアを選出する。同点ペアが複数出た場合は、対象者のみの選考会を別々に実施する。</p>	なし

**注②：成年男女における「指定シードペア・選手 (最終予選)」**

ダブルス (同一ペアに限る)	シングルス
<ul style="list-style-type: none"> <li>○当年度北海道春季選手権 (一般) 優勝ペア</li> <li>○前年度北海道選手権 (一般) 上位 2 ペア</li> <li>○前年度東・西日本選手権 (一般) 上位 16 ペア</li> <li>○前年度全日本学生選手権 上位 8 ペア</li> <li>○前年度全日本社会人選手権 (一般) 上位 16 ペア</li> <li>○前年度全日本選手権 (一般) 上位 32 ペア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○当年度北海道シングルス選手権 上位 2 名</li> <li>○当年度全日本シングルス選手権 上位 16 名</li> <li>○前年度全日本学生シングルス選手権 上位 8 名</li> </ul>

**注③：補欠選手の選考基準**

少年男女	成年男女
ダブルス及びシングルス予選会における次点選手から監督・コーチの意向を踏まえ、選考する。	ダブルス及びシングルス予選会における次点選手及び当年度の全日本シングルス選手権、北海道春季選手権、北海道選手権、東日本選手権、全日本学生選手権で上位入賞した選手の中から監督・コーチの意向を踏まえ、選考する。

**■改正内容**

- 平成 12 年 1 月 22 日理事会：補欠制について  
補欠選手を認めず、選手変更を要する非常事態の場合出発前は国体代表選考委員会で、出発後は選手団の総監督に委ねることとした。
- 平成 14 年 5 月 25 日理事会：国体代表選考委員会について  
委員については、会長、副会長、理事長、副理事長とし、審議の際は、会長 (代理含む)、

副会長（2名以上）、理事長、副理事長（強化委員長を含む2名以上）の出席を要することとした。

- **平成18年6月10日理事会：国体代表内定組の取り扱いについて**  
国体代表内定基準を作り、その対象組が複数生じた場合の取扱いを明記した。
- **平成26年3月1日理事会：監督・コーチの決定について**  
国体の監督・コーチは、強化委員会が推薦し、国体代表選考委員会の了承を経て、理事会で審議・決定することとした。
- **平成27年3月7日理事会：補欠選手の選考及びシングルの導入に伴う変更**  
シングルの導入に伴い代表選手が5名(ダブルス4名、シングル1名)になることから怪我による選手変更や練習パートナーなどの問題に対応出来るように補欠選手を1名置くことにしたほか、シングルの選考に関わる事項を明記した。
- **令和5年2月18日理事会：競技日程変更に伴う選考方法の見直し**  
成年男女参加選手の各種大会日程を考慮して、競技日程を5月最終週末にダブルスとシングル両方の予選会を実施することとした。
- **令和6年2月17日理事会：少年男女シングル選考会実施方法の見直し**  
競技者育成プログラム step2との連動方法と選考会参加基準及び代表候補選手選考基準の見直しを行った。
- **令和8年2月17日理事会：成年男女選考会実施日程の見直し**  
内定権獲得選手が翌日の選考会を棄権することは、運営上支障をきたすことから、初日にシングル、翌日にダブルスを実施することとした。
- **令和8年2月17日理事会：成年男女ダブルス選考会指定シードの見直し**  
当年度春季選手権での指定シードは、直前実施のため準備に支障をきたすことから除外した。